

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 19 日現在

機関番号：34303

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2013

課題番号：23520073

研究課題名(和文) ヴァーグバタの著作を中心とするインド伝統医学文献の写本資料収集と原典批判研究

研究課題名(英文) Philological study of the classical texts of traditional medicine in India with special attention to the Sanskrit medical works attributed to Vagbhata and his disciple.

研究代表者

山下 勤 (Yamashita, Tsutomu)

京都学園大学・経営学部・教授

研究者番号：00319435

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,400,000円、(間接経費) 720,000円

研究成果の概要(和文)：紀元後7世紀頃のインドの医学者ヴァーグバタによるインド伝統医学文献『アシュターンガ・フリダヤ・サンヒター』と『アシュターンガ・サングラハ』、また、ヴァーグバタの弟子とされるジャッジャタが著したインド伝統医学文献を研究対象として、(1)それぞれの文献の写本資料の複写の収集、(2)これら収集資料に基づく文献学的研究、(3)これらの文献に見られるインド伝統医学理論の分析を行った。また、(4)インド・ケーララ州においてインド伝統医学臨床実践に関する調査を行い、参考資料として整備した。上記(2)～(4)の成果の一部を、学術論文と、学会などでの口頭発表の形で公表した。

研究成果の概要(英文)：This research project regarding philological study of the classical Sanskrit texts of traditional medicine in India consists of the following four parts. (1) Collecting copies of the manuscripts of the classical texts of traditional medicine in India, particularly Vagbhata's Astangahridayasamhita, Astangasangraha and Jajjata's traditional Indian medical works. (2) Philological study based on the collected materials of the traditional medical works. (3) Analysis of medical theory found in these traditional medical works. (4) Research of clinical practices of traditional medicine in modern Kerala state, India. The results of (2), (3) and (4) of this project have partly been published.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学 印度哲学・仏教学

キーワード：インド伝統医学 サンスクリット 医学史

1. 研究開始当初の背景

研究代表者(山下)は、1990年代後半からインド伝統医学文献の文献学的研究に着手し、近年はインド・ケララ州で現在もインド医学の伝統を守る伝統医師達の治療実践とインド医学文献の写本資料に関する現地調査を同時に進めてきた。

また、2007(平成19)年からはコペンハーゲン大学の Kenneth G. Zysk 教授との共同研究として、紀元後7世紀頃のインドの医学者ヴァーグバタの弟子とされるジャッジャタによる『チャラカ・サンヒター』への註釈文献の写本資料を用いた原典批判研究を進めてきた。

このようなこれまでの研究代表者(山下)のインド伝統医学についての調査・研究の成果の1つとして、インド・ケララ州のインド伝統医師たちが現在も実践しているインド伝統医学は、主に紀元7世紀頃のヴァーグバタの著作とされるインド医学書の記述に基づく医学伝統であり、ケララ州をはじめとしてインド国内には、ヴァーグバタによるとされるインド伝統医学書の古写本が数多く現存することが明らかとなってきた。

以上のような経緯によって、研究代表者(山下)は、これまでの研究をさらに発展的に進めるため、新たに、インド医学者ヴァーグバタとその弟子ジャッジャタの著作を中心としたインド伝統医学文献の写本資料収集と原典批判に基づくインド医学理論の研究を着想するに至った。

2. 研究の目的

インド伝統医学を、インド文化の重要な構成要素の一つとしてとらえ、写本資料を中心とする文献学的研究に基づき、主に身体論、病理論と疾病診断論を中心とするインド医学理論の歴史的発展過程の解明を目的とする。具体的には、主にインド・ケララ州に伝承されている紀元後7世紀頃の医学者ヴァーグバタとその弟子とされるジャッジャ

タの著作の写本資料の収集・原典批判と医学理論分析を中心として行う。また、現在もケララ州で活躍する伝統医たちの臨床実践についての調査も併せて行い、文献解読・理論分析のための参考資料として整備する。

3. 研究の方法

(1) 医学理論研究

古代インドにおいて、医学理論の萌芽は古くはヴェーダ文献中に散見され、それらはやがて、いわゆるインド哲学のうちのヴァイシエーシカ学派やサーンキヤ学派の理論を取り込みつつ次第に発展し、インド医学文献およびその註釈文献において理論的な完成が見られるに至る。また、様々な臨床実践の場において、これらインド医学理論が現実の疾病治療に応用・吟味され、さらに精緻な理論体系へと発展していったものと考えられる。現存するインド医学文献を詳細に解読・検討することによって、インド医学理論のうち、特に身体論、病理論および疾病診断論を分析し、その発展過程の一端を明らかにすることが、インド伝統医学を正しく理解するために、極めて重要である。しかし、これまでのところインド伝統医学文献の原典批判研究が充分とは言えないため、本研究ではまずインド医学文献の古写本資料の調査・収集と、これらを用いた文献学的研究を行い、その成果に基づいてインド医学理論研究を進めることとした。

(2) 現地調査・写本資料収集

インド医学文献中の医学理論や治療実践についての記述を正しく理解するためには、現実の治療実態についての認識が不可欠である。そのため、本研究ではインド・ケララ州の伝統医の協力を得て、古来の治療実践についての現地調査を行い、その記録を整備し、医学理論・医学思想研究のための参考資料として活用することとした。またこれまでの研究代表者(山下)の調査によって、ケララ州の伝統的な医家のうちには、貴重な医

学文献の古写本を今日まで保存している家系が多いことが明らかとなっている。本研究では治療実態の調査と同時に、これら医家に伝わる医学写本の調査を進めることとした。さらに、インド各地の図書館や写本資料館などに所蔵されている医学古写本の調査を行い、所有者の許可が得られる場合は、可能な限り古写本のページごとの写真撮影やコピーの作成を行い、原典批判に向けた写本資料の整備を行うこととした。

(3) 研究対象とするインド医学文献

紀元後 6 世紀頃に成立したとされるインド医学書『チャラカ・サンヒター』と、同書よりやや遅れて成立したインド医学書『スシュルタ・サンヒター』がインド医学の 2 大古典とされている。『チャラカ・サンヒター』については、近年、ウィーン大学の Karin Preisendanz 教授を中心に原典批判研究が進みつつある。この 2 大古典と並んで重視されるインド医学文献は、紀元後 7 世紀頃の『アシュターンガ・フリダヤ・サンヒター』と『アシュターンガ・サングラハ』である。共にヴァーグバタという人物の著作とされるこの 2 つのインド医学書は、『チャラカ・サンヒター』と『スシュルタ・サンヒター』以降のインド医学理論の発展過程を研究する上で極めて重要である。本研究ではヴァーグバタによるとされるこの 2 つの文献の写本資料収集を主に行う。また、この 2 つの文献の著者ヴァーグバタの弟子とされるジャッジャタの著作、特に『ニランタラパダ・ヴィヤーキヤ』については、既に入手済みの写本資料を中心とした原典批判研究を行う。ヴァーグバタの弟子であるジャッジャタの著作をも研究対象とするのは、研究代表者（山下）が既にその研究を先行して進めており、その結果、ジャッジャタの著作中にはヴァーグバタの作品からの引用が多いことが明らかとなってきたからである。

4. 研究成果

(1) インド医学文献の写本と出版本について

2011(平成 23)年度、インド・マハラシュトラ州プネーの Bhandarkar Oriental Research Institute, Bharata Itihasa Samsodhaka Mandala, 同州ムンバイの Asiatic Society of Mumbai, ケーララ州トリヴァンドラムの Oriental Research Institute and Manuscripts Library, 同州トリッシュュール近郊の Vaidyamadhan Mooss 家において写本に関する現地調査を行い、ヴァーグバタによる『アシュターンガ・フリダヤ・サンヒター』と『アシュターンガ・サングラハ』の写本資料のコピー作成、写真撮影を行った。またネパールの National Archives の Nepal-German Manuscript Preservation Project の協力を得て、ネパール国内で発見された『アシュターンガ・フリダヤ・サンヒター』と『アシュターンガ・サングラハ』を含むヴァーグバタの著作の写本マイクロフィルムを入手した。さらにイギリス・ロンドンの British Library の協力を得て、同ライブラリーが所蔵する 1800 年代に出版された、『アシュターンガ・フリダヤ・サンヒター』の印刷出版本としては最も古いものの 1 つのコピーを入手した。

2012(平成 24)年度、インド・ウッタルプラデーシュ州ベナレスの Sanskrit University, Sarasvati Bhavan Library; Banaras Hindu University, Bharat Kala Bhavan; 西ベンガル州コルカタの Asiatic Society, University of Calcutta において写本に関する現地調査を行い、ヴァーグバタによる『アシュターンガ・フリダヤ・サンヒター』と『アシュターンガ・サングラハ』の写本資料の部分的なコピー作成、写真撮影を行った。(ベナレスの Sanskrit University では、写本のコピーの申請をして受理されたが、2014(平成 26)年 6 月現在、研究代表者はこのコピーを受け取っていない。また、コルカタの

Asiatic Library では写本の閲覧のみ許可され、コピー作成は許可されなかった。)

2013(平成 25)年度、インド・ラジャスタン州ジョードプルの Rajasthan Oriental Research Institute, Jodhpur, Mehrangarh Fort Manuscript Library, 同州ピカネールの Anup Sanskrit Library, Rajasthan Oriental Institute, Bikaner において写本に関する現地調査を行い、ヴァーグバタによる『アシュターンガ・フリダヤ・サンヒター』と『アシュターンガ・サングラハ』の写本資料のコピー作成、写真撮影を行った。(Anup Sanskrit Library では、同 Library の規則により、写本の閲覧のみ許可され、コピー作成などは許可されなかった。)

(2)写本資料の校合と文献読解研究

上記(1)の現地調査で得た『アシュターンガ・フリダヤ・サンヒター』と『アシュターンガ・サングラハ』の写本資料について校合を行い、その成果の一部を口頭発表した(下記〔学会発表〕(2))。また、これらの資料と出版本を用いて京都大学大学院文学研究科 2013(平成 25)年度前期 演習授業を行い、読解研究とインド医学理論分析を進めた。

ジャッジャタ作『ニランタラパダ・ヴィヤーカー』の原典批判研究とそれに基づく読解研究を進め、その成果を論文として発表した(下記〔雑誌論文〕(5)、〔学会発表〕(1)および(3))。

なお、ヴァーグバタによるインド医学書『アシュターンガ・フリダヤ・サンヒター』と『アシュターンガ・サングラハ』については、本研究の現地調査により、極めて多くの写本がインド各地に、またヨーロッパの図書館などインド以外の国々にも存在していることが明らかとなり、今後も継続的な調査が必要となった。また、本研究期間内にも両書の写本資料のコピーや写真が、当初の予想以上に数多く入手できたため、これらの資料を用いた詳細な文献学的研究については、今後、

別の研究プロジェクトに引継ぎ、継続的に取り組むこととした。

(3)治療実践についての調査

2011(平成 23)年度、2012(平成 24)年度、2013(平成 25)年度、インド・ケーララ州およびタミルナードゥ州においてインド伝統医学の臨床治療の実体について資料収集および調査を行い、その成果の一部を論文として発表した(下記〔雑誌論文〕(1),(3),(4))。また、仏教文献中に見られるインド医学に関する記述の背景について調査し、その成果の一部を論文として発表した(下記〔雑誌論文〕(2))。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 5 件)

(1)Tsutomu YAMASHITA, P. Ram MANOHAR, "Memoirs of Vaidyas, The Lives and Practices of Traditional Medical Doctors in Kerala, India (5)." *eJournal of Indian Medicine* (<http://www.indianmedicine.nl/>), Vol.4, No.1, 2011, pp.11-33.(査読有)

(2)山中行雄、山下勤、赤羽律、室屋安孝、「仏教文献『療痔病経』の背景について」、『日本医学史雑誌』第 58 巻、第 1 号、2012, pp.39-51.(査読有)

(3)Tsutomu YAMASHITA, P. Ram MANOHAR, "Memoirs of Vaidyas, The Lives and Practices of Traditional Medical Doctors in Kerala, India (6)." *eJournal of Indian Medicine* (<http://www.indianmedicine.nl/>), Vol.5, No.1, 2012, pp.1-23.(査読有)

(4)Tsutomu YAMASHITA, P. Ram MANOHAR, "Memoirs of Vaidyas, The Lives and Practices of Traditional Medical Doctors in Kerala, India (7)." *eJournal of Indian Medicine* (<http://www.indianmedicine.nl/>), Vol.6, No.2, 2013, pp.45-90.(査読有)

(5)Kenneth G. ZYSK, Tsutomu YAMASHITA, "Jajjata's Nirantarapadavyakhya on the Carakasamhita, Cikitsasthana 2.1.1-4ab." Dominik Wujastyk, Anthony Cerulli, Karin Preisendanz (eds.), *Medical Texts and Manuscripts in Indian Cultural History*. New Delhi: Manohar, 2013. pp.221-242.(査読有)

〔学会発表〕(計 3 件)

(1)Tsutomu YAMASHITA, Kenneth G. ZYSK, *Jajjata's Nirantarapadavyakhya 2.1.16cd-22ab*. Internal Workshop on Classical

Indian Medicine 6th. 2012年12月5日、
University of Vienna.

(2) Tsutomu YAMASHITA, *The Intermediate Texts between the Astangahridayasamhita and Astangasangraha*. International Workshop on Classical Indian Medicine 6th. 2012年12月6日、University of Vienna.

(3) Tsutomu YAMASHITA, Kenneth G. ZYSK, *Jajjata's Nirantarapadavyakhya on the Carakasamhita 2.1.1-8ab*. International Seminar on the Classical Texts of Ayurveda. 2013年11月7日、University of Copenhagen.

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等
本研究によるテキストデータベース：
<http://www.cc.kyoto-su.ac.jp/~yanom/sanskrit/ayurveda/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

山下勤 (Tsutomu YAMASHITA)

研究者番号：00319435

京都学園大学 経営学部 教授

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：